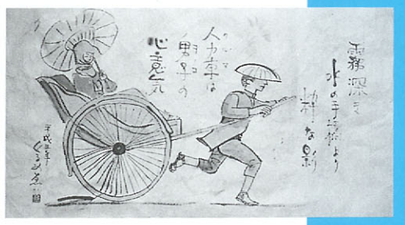
ふるさとをわたる風

人吉俥屋疾風之會
松田 茂さん



緑豊かな人吉路を軽やかに走る人力車。一昨年の四月に突如お目見えして以来、観光案内や結婚式をはじめ、お祭りやイベントなどへと出向いては話題をさらってきました。

今回、お訪ねしたのは、その人力車を引く「人吉俥屋疾風之會」の松田茂さん。好きで始めた人力車が地域おこしとして認められ、少々戸惑いも感じているという松田さんのお話を伺いました。

好きで引いた人力車が地域おこしの引き金に——

うっそうと茂る緑も鮮やか

——「人吉俥屋疾風之會」では、どのような活動を行っているのですか。

松田　所有する人力車は二台。それぞれに仕事を持つ五人の車夫が、時間をつくって人吉城跡、焼酎蔵、永国寺などの観光スポットを三、四十分かけて案内しています。また、神社で結婚式を挙げたばかりの花婿さん・花嫁さんを、披露宴会場まで乗せたりもします。そういう時は、仕事を半日休まないといけないけど。

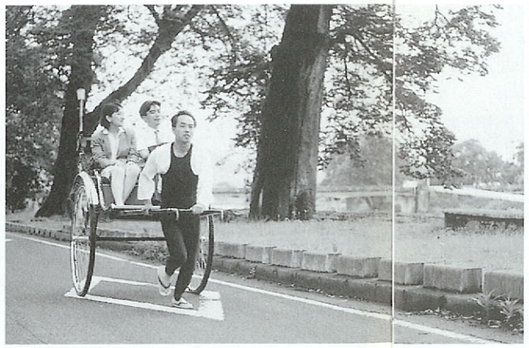
——仕事を休んでまで人力車を引こうと思った動機は何ですか。

松田　今は車社会。スピードを競う時代に人力車でゆったり、のんびり走って目立ちたかったということ（笑）。それが一番の動機ですね。

——実際に引いて感じる人力車の魅力は何ですか。

松田　何より自然や風との一体感を味わえるのが最高ですね。お客様も人力車ぐらいのスピードで走り、しかも人力車に乗った高さからだとまわりの景色がよく見えるんです。堤防にさえぎられていた球磨川の美しい流れも見えてくるし。また、二人以上のお客様を乗せることはないので、じっくりお話しすることが出来ます。テープで流すとおり一遍のガイドと違って、ジョークを交えながら人吉の歴史を語れば、お客様も大変喜んでくれます。京都からやって来たという老夫婦を案内した時も、とても感激してくださいました。

——そのような活動に対し、人吉市から観光表彰の授与があると伺いましたが。



車夫の足取りも軽やかに。人吉路を行く。

自分たち自身のための行動こそ、本当の地域おこし

松田　私は、ただ人力車に魅せられ、それを引いているだけなのですが、まわりの人たちが、それを町おこし・村おこしという目で見るようになってしまって……。正直なところ、少し戸惑っています。人力車は、結果として人吉を見直すための一つの手段になったのかも知れませんが、私自身「誰かのために」という気持ちで活動してきたのではないのだし。そもそも地域おこしの本質自体、「誰かのために」ではおかしいのではないかと思うのです。私たちはこの土地で仕事をし、生きています。この土地に対し無責任ではいられないからこそ、「誰かのため」の地域おこしではなく、自分たち自身のために活動しているだけなのです。

——好きなことをやっていたら、それが地域おこしにつながっていったという訳ですね。

松田　私たちが好きでやっていることが、村おこし・町おこしにつながったように、民間の自発的な行動を、行政がバックアップしていくのが「地域おこし」の理想的なスタイルだと思います。私は、人力車を引きたい引きたいと思い、熊本県球磨事務所の人に補助制度のお話を伺ったりしてきました。事実一台百四十万円もする人力車が買えたのも、そのような補助制度を利用することが出来たからでした。いろんなアイディアを持ち、行動に移したくても実現出来ずにいる人たちもいるでしょう。そういう人たちは、まず行政側の情報を得ることを勧めます。また、行政側からも「こんな制度がありますから利用してみませんか」と、もっと働きかけて欲しいと思います。何かしたいと考えている者と、それを助ける者とは対等の立場にいることが大切なのですから。

——今後はどのような活動を考えていますか。

松田　来年、人吉市は市制五十周年を迎えます。そこで、全国に今あるすべてを人吉市に集めて一大イベントを開催する予定です。本職用、ディスプレイ用、地域おこしに役立てられているものと様々ですが、走らせられるものは走らせたいと考えています。

また、人吉には地元の特産品を生かす活動を展開中のグループをはじめ、地域に根ざした独自の活動に取り組むグループが多く生まれています。私たちは、そのようなグループが集まって、それぞれのネットワーク化を図る球磨・人吉むらおこし連絡協議会〝じゃつ隊〟に所属していますが、まだまだ活動内容が乏しいのが現実です。まずは組織を整備し、グループ間での円滑な情報交換を進め、行政との協力関係も確立させながら、息の長い活動を展開していきたいと考えています。

夏目漱石とマドンナに扮する二人を乗せ明治時代にタイムスリップ。（上熊本駅開業100周年セレモニーにて）

人力車のご利用について

所要時間　一回三十分程度
コース　人吉城跡→焼酎蔵→永国寺など
受付時間　九時～十一時
　　十五時～十七時
料金　一人二千円
（乗車される方および人力車の保険料金として頂きます）

お問い合わせ・お申し込みは……

人吉俥屋疾風之會（松田茂）
℡〇九六六―二二―二五八〇
熊本県球磨事務所総務振興課
℡〇九六六―二四―四一一一（隅田まで）
その他、ご希望に応じます。ご相談下さい。